

ごみ処理の広域化について

1 広域化に係る経緯

- 平成 10 年 3 月 神奈川県ごみ処理広域化計画策定
- 平成 12 年 8 月 4 市 1 町の首長による広域組織に関する覚書の締結
『広域連合設立時期：平成 14 年 4 月 1 日』
- 平成 14 年 3 月 広域組織に関する覚書の一部を変更する覚書の締結
『広域連合設立時期：今後協議のうえ定める』
- 平成 16 年 2 月 エコループプロジェクト事業報告会の開催
- 平成 16 年 3 月 ごみ処理広域化基本構想（素案）の中間報告を作成
- 平成 17 年 2 月 4 市 1 町首長懇談会の開催
『広域化について平成 17 年 12 月末までに結論を出す』
- 平成 17 年 9 月 山北町がエコループプロジェクト候補地の検討を断念
- 平成 17 年 12 月 4 市 1 町首長会議の開催
『広域化は、2 グループ体制で推進することを確認』

2 広域化の枠組

平成 17 年 12 月 26 日に開催された 4 市 1 町の首長会議において、広域化の枠組は横須賀市、三浦市及び葉山町の 2 市 1 町と鎌倉市及び逗子市の 2 市での 2 グループ体制で、当面のごみ処理の広域化を推進することが確認された。

3 横須賀市のグループが広域で行う主なごみ処理方法案

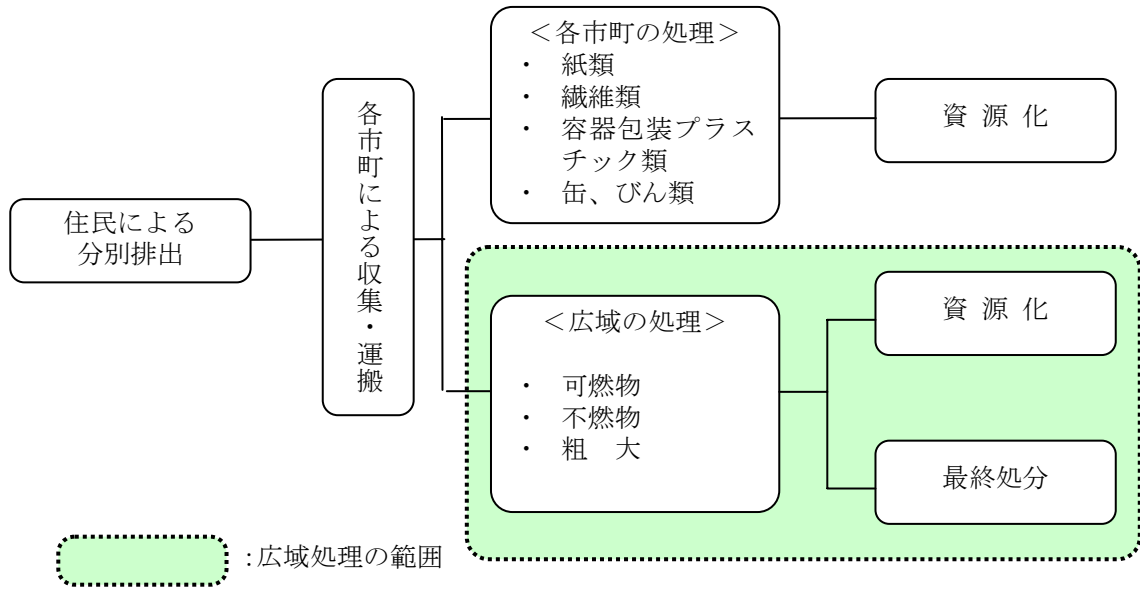
（1）燃せるごみの資源化

ア 生ごみのバイオガス化

イ 植木剪定枝の資源化

（2）不燃ごみの資源化

4 各市町の役割と広域処理の範囲



※容器包装廃棄物（缶、びん、ペットボトル、容器包装プラスチックなど）及び集団資源回収対象物（新聞、雑誌、古着古布など）の資源化は、それぞれの自治体が対応することとしている。

（参考）4市1町の廃棄物処理施設の概要

		人口 (H17.4.1)	主な廃棄物処理施設			
			焼却施設	資源化処理施設等	最終処分(埋立)場	
4市1町	2市1町	横須賀市	427,202	・南処理工場 (1983年稼動)	・リサイクルプラザ (2001年稼動) ・プラスチック減容固化施設 (1995年稼動)	なし
		三浦市	50,157	なし	・環境センター (1991年稼動)	・西岩堂埋立地 (1991年稼動)
		葉山町	31,618	・クリーンセンター (1977年稼動)	・クリーンセンター (2000年稼動)	なし
	2市	鎌倉市	170,809	・名越クリーンセンター (1982年稼動) ・今泉クリーンセンター (1973年稼動)	・笛田リサイクルセンター (1997年稼動) ・植木選定材堆肥化事業場 (1995年稼動)	なし
		逗子市	58,522	・清掃センターじん荼処理場 (1981年稼動)	・清掃センターじん荼処理場内 (1999年稼動)	・清掃センターじん荼処分場 (1993年稼動)